

入札説明書等に対する質問回答書

工事名：尼崎基地事務所新築工事（2022-西宮）

質問提出日 2023年 2月16日

質問回答日 2023年 2月24日

質 問	回 答
<p>1. その他／工事車両搬出入 施工ヤードへの工事車両搬出入制限について、曜日・時間帯等に関わる制限は無いものと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>2. 入札公告・説明書等／特記仕様書補足事項 P7 特記仕様書補足事項 第3章 10)機械設備において、水道本管～水道事業者の管理するメーターまでは「設計変更の対象」と記載されています。給水引込工事について、撤去・新設共 設計変更の対象でしょうか。</p> <p>3. 入札公告・説明書等／特記仕様書補足事項 P7 特記仕様書補足事項 第3章 10)機械設備において、水道本管～水道事業者の管理するメーターまでは「設計変更の対象」と記載されています。下水道引込工事（敷地北側 下水道本管～敷地内公設柵まで）の撤去・新設についても、設計変更の対象でしょうか。</p>	<p>1. 現時点では制限は無いものとお考えください。</p> <p>2. ご質問のとおりとお考えください。</p> <p>3. ご質問のとおりとお考えください。</p>

4. 図面、金抜設計書／M-01、内訳第 46 号 P146, 147

機械設備 特記仕様書において、空調用排水管は「硬質塩化ビニル管 (VP, RF-VP)」に適用表記されています。金抜設計書においては、全て「排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)」と記載されています。また、RF-VP は規格として 40A 以上の製品です。金抜設計書を正とし、空調用排水管は全て「VP」と考えて宜しいでしょうか。

5. 図面、金抜設計書／M-01 第 2 編 1 章及び第 5 編、内訳第 51 号 P161

機械設備 特記仕様書 保温項目において、「標準仕様書 (機械設備工事編) 第 2 編による」と記載されていますが、排水管 (RF-VP) についても標準仕様書による保温工事は必要と考えて宜しいでしょうか。

6. 金抜設計書、図面、その他／内訳第 51 号 P162、M-01 第 2 編 1 章、公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和 4 年度版

金抜設計書において、屋内排水管 (暗渠内配管) の保温は「グラスウール+着色アルミガラスクロス」と記載されています。機械設備 特記仕様書においては、保温は「標準仕様書 (機械設備工事編) 第 2 編による」と記載されており、標準仕様書には暗渠内排水管 (ピット内を含む) は保温を行わない旨が記載されています。屋内排水管のうち暗渠内配管は、保温不要と考えて宜しいでしょうか。

4. ご質問のとおりとお考えください。

5. ご質問のとおりとお考えください。

6. ご質問のとおりとお考えください。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P162 を修正します。

7. 金抜設計書、図面、その他／内訳第 46 号 P147、M-01 第 2 編 1 章、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和 4 年度版

金抜設計書において、空調排水管（暗渠内配管）の保温は「グラスウール+着色アルミガラスクロス」と記載されています。機械設備 特記仕様書においては、保温は「標準仕様書(機械設備工事編)第 2 編による」と記載されており、標準仕様書には暗渠内排水管（ピット内を含む）は保温を行わないと記載されています。空調用排水管のうち暗渠内配管は、保温不要と考えて宜しいでしょうか。

8. 金抜設計書／内訳第 46 号 P147

金抜設計書（空気調和設備）「排水管塗装」項目において、規格に「露出」と記載されていることから、空調用排水管の屋外露出部は硬質塩化ビニル管に塗装を施す仕様とお見受けしますが宜しいでしょうか。塗装面の経年劣化等を考慮し、屋外露出部は【配管+保温材（ポリスチレンフォーム）+外装材（SUS）】または【カラー VP 40A（保温・外装材無し）】としなくて宜しいでしょうか。

9. 金抜設計書／内訳第 46 号 P147

前項において否の場合、空調用排水管 屋外露出部の管材及び仕上げ等の詳細をご指示ください。

10. 金抜設計書、図面／内訳第 46 号 P146, 147、M-05, 06

機械設備図において、空調用排水管は随所に屋外露出配管及びピット内配管が表記されています。金抜設計書（空気調和設備）においては、空調排水管は「屋内一般」及び「地中配管」項目のみとなっています。

屋外露出配管は「屋内一般」、ピット内配管は「地中配管」に含まれると考えて宜しいでしょうか。

7. ご質問のとおりとお考えください。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P147 を修正します。

8. 金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。

9. 上記 8. の回答のとおりとお考えください。

10. 屋外露出配管及びピット内配管は「屋内一般」に含まれるものとお考えください。

<p>11. 図面/M-16 ガス給湯器 ドレン排水 20A について「VP」と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>12. 金抜設計書、図面/内訳第 46 号 P146、M-06 金抜設計書 空気調和設備において、「室外機用鋼材」の項目がありますが、摘要欄に「材のみ」と記載されています。室外機用鋼材の据付費を計上する項目がありませんので、「室外機用鋼材」項目は「材工共」と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>13. 金抜設計書、図面/内訳第 46 号 P146、M-06 前項において否の場合、室外機用鋼材の据付費を計上する項目をご指示ください。</p> <p>14. 図面、金抜き設計書/M-07, A-59 [D-5-1] /内訳第 19 号 P69, 内訳第 47 号 P150 2 階湯沸室の排気ファンについて、機械設備図では天井扇 (VF-201) が見込まれており、金抜設計書 (換気設備) にも記載されています。意匠図では、流し台詳細図にレンジフードが表記されており、金抜設計書 (ユニット及びその他) においても「レンジフード×1」の表記があります。意匠図 (レンジフード) を見込むものとし、天井扇 (VF-201) は取り止めと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>15. 図面、金抜設計書/M-07, A-59 [D-5-1] /内訳第 19 号 P69, 内訳第 47 号 P150 2 階湯沸室の排気ファン用ダクトについて、機械設備図では 100φ (天井扇 (VF-201) 接続) と表記されていますが、意匠図 流し台詳細図においては 150φ (レンジフードに接続) のダクトが表記されています。意匠図を正とし、150φ と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>11. ご質問のとおりとお考えください。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P169 を修正します。</p> <p>12. ご質問のとおりとお考えください。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 146 を修正します。</p> <p>13. 上記 12. の回答のとおりとお考えください。</p> <p>14. 設計図面及び金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。</p> <p>15. 設計図面及び金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。</p>
--	---

16. 図面/M-09, 11

ベントキャップ（平型・深型）について指定色塗装の表記はありませんが、全て「メカ標準色」と考えて宜しいでしょうか。指定色塗装を見込む場合、適用範囲をご指示ください。

17. 図面、金抜設計書/M-14, A-42～48、内訳第14号 P47, 内訳第49号 P157

機械設備図において「小便器（手すりあり）」×3箇所と表記されていますが、注記には「各手摺は建築工事」と記載されています。意匠図においても小便器手摺×3か所が表記されています。また、金抜設計書（衛生器具設備）には小便器×3組の項目に「手すり」と記載されていますが、金抜設計書（金属）にも「便所手摺（小便器用）」×3か所の項目が記載されています。小便器用手摺は建築工事、金抜設計書（金属）にて計上するものとし、機械設備工事の手すりは取り止め、金抜設計書（衛生器具設備）小便器項目の「手すり」表記は削除して宜しいでしょうか。

18. 図面/M-27

機械設備図に「給水引込分水止め・撤去は別途工事」と記載されていますが、別途工事による分水止め・引込撤去時期をご教示ください。

19. 図面/M-27

機械設備図に「下水引き込み管撤去は別途工事」と記載されていますが、別途工事による下水引込撤去時期をご教示ください。

16. ご質問のとおりとお考えください。なお、実施に当たっては監督員との協議の上、決定してください。

17. ご質問のとおりとお考えください。別紙-1のとおり、金額を記載しない設計書 P157 を修正します。また、別紙-2 のとおり、設計図 M-14 を修正します。

18. 上記 2. の回答のとおりとお考えください。別紙-2 のとおり、設計図面 M-27 を修正し、「給水引込分水止め・撤去は別途工事」の記載を削除しました。なお、施工時期については監督員との協議の上、決定してください。

19. 上記 2. の回答のとおりとお考えください。別紙-2 のとおり、設計図面 M-27 を修正し、「下水引き込み管撤去は別途工事」の記載を削除しました。なお、施工時期については監督員との協議の上、決定してください。

20. 図面/M-16

機械設備図に「給水本管から量水器までの引き込み工事は別途工事」と記載されていますが、別途工事による給水引込工事の時期をご教示ください。

21. 図面/M-16

機械設備図に「下水本管から公設柵までの引き込み工事は別途工事」と記載されていますが、別途工事による下水引込工事(敷地北側)の時期をご教示ください。

22. 図面/M-16, M-27

上下水引込工事(新設・撤去共)に関わる給水負担金、排水放流金並びにその他分担金は別途と考えて宜しいでしょうか。

23. 金抜設計書/内訳第 69 号 P194

金抜設計書 一般管理費等において「給水申請手数料 口径変更手数料のみ」の項目が記載されています。尼崎市上下水道部のホームページに掲載されている①設計審査手数料(改造工事 40mm) ¥3,340、②工事検査手数料(改造工事 40mm) ¥3,360 の合計「¥6,700」を見込むものと考えて宜しいでしょうか。

24. 金抜設計書/内訳第 69 号 P194

前項と併せて、引込工事に関わる①②手数料以外の諸費用

- ・分担金¥722,700
- ・せん孔工事立会費¥9,830

は別途と考えて宜しいでしょうか。

25. 金抜設計書/内訳第 69 号 P194

前項と併せて、引込工事に関わる①②手数料以外の計上すべき費用がある場合、費用内容及びその金額についてご指示ください。

20. 上記 2. の回答のとおりとお考えください。別紙-2 のとおり、設計図面 M-16 を修正し、「給水本管から量水器までの引き込み工事は別途工事」の記載を削除しました。監督員との協議の上、決定してください。

21. 上記 2. の回答のとおりとお考えください。別紙-2 のとおり、設計図面 M-16 を修正し、「下水本管から公設柵までの引き込み工事は別途工事」の記載を削除しました。なお、施工時期については監督員との協議の上、決定してください。

22. 給水分担金、設計審査手数料(上水)、工事検査手数料(上水)を計上しています。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P194 を修正します。

23. 金額を記載しない設計書の記載内容については、上記 22. の回答のとおりとお考えください。なお、金額につきましては尼崎市公営企業局上下水道部のホームページ等をご確認ください。

24. 給水分担金については上記 22. および上記 23. の回答のとおりとお考えください。せん孔工事立会費については、上記 2. の回答に示すとおり、設計変更の対象とします。

25. 上記 22. および上記 23. の回答のとおりとお考えください。

<p>26. 金抜設計書、図面／内訳第 50 号 P159 、M-15, 18</p> <p>金抜設計書（屋内給水設備）において、フレキシブルチューブは 4 本と記載されています。衛生設備図において、ガス給湯器×3 か所（WHG-1, 2, 3）については「SUS 製フレキシブルチューブ」の表記がありますが、残り 1 か所は電気温水器（WHE-1）への給水接続部に使用するものと考えて宜しいでしょうか。設置場所をご教示ください。</p> <p>27. 図面、金抜設計書／M-01、内訳第 51 号 P161</p> <p>機械設備 特記仕様書において、一般排水通気管は「ビニル管（RF-VP）」に適用表記されています。金抜き設計書 屋内排水設備においては、通気管は「VP」と記載されています。金抜き設計書を正とし、一般排水通気管は全て「VP」と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>28. 図面／M-16</p> <p>下足室 1, 2 掃除流し系統の排水管について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水枝管（器具～排水主管接続部）：65A ・排水主管：100A ・床上掃除口（非防水形）：100A×1 か所 <p>と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>29. 図面／M-17, 18</p> <p>排水通気金具の仕様について、壁取付（1 階 屋外男子・女子便所系統及び 2 階 便所系統）は深形、その他軒下取付は平形と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>30. 金抜設計書、図面／内訳第 52 号 P163 、M-15, 18</p> <p>金抜設計書（給湯設備）において、フレキシブルチューブは 4 本と記載されていますが、衛生設備図において、フレキシブルチューブの表記はありません。フレキシブルチューブの使用箇所をご教示ください。</p>	<p>26. 電気温水器（WHE-1）への給水接続部です。</p> <p>27. 別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P161 を修正します。</p> <p>28. 別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P162 を修正します。また、別紙-2 のとおり、設計図 M-16 を修正します。</p> <p>29. 金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。</p> <p>30. 上記 26. の回答のとおりとお考えください。</p>
--	---

31. 図面/M-19

機械設備図において、防火水槽 採水口配管及び通気管の管材について記載されていません。採水口配管はSGP-VS、通気管はカラーVPと考えて宜しいでしょうか。

32. 図面、金抜設計書/M-20, 21, A-7, 9, 29~35 A-56 [D-2-3]、内訳第 53 号 P165, 内訳第 19 号 P70

消火設備図 消火器 (○) の凡例に「機器設置スタンド共」と記載されており、金抜設計書 (消火設備) においても、消火器の項目に「標識設置スタンド共」と記載されています。意匠図では、特記仕様書において埋込型消火器ボックスに適用表記されており、工事区分表では埋込型消火器BOXは建築工事と記載されています。更に、平面詳細図等においても埋込型消火器ボックスが随所に表記されています。また、金抜設計書 (ユニット及びその他) にも消火器ボックスの項目が記載されています。意匠図を正とし、機械設備工事の機器設置スタンド (標識設置スタンド) は不要と考えて宜しいでしょうか。

33. 金抜設計書/内訳第 53 号 P165

前項に併せて、金抜設計書 (消火設備) 消火器項目の「標識設置スタンド共」を削除して宜しいでしょうか。

34. 図面/M-21

R 階 受変電設備横に設置する消火器について「機器設置スタンド」と表記されていますが、屋外となりますので機器設置スタンドを取り止め、「鋼製格納箱」に変更として宜しいでしょうか。

31. 採水口配管はSGP-VS、通気管はRF-VPとしています。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P161、165 を修正します。また、別紙-2 のとおり、設計図 M-01、19 を修正します。

32. ご質問のとおりとお考えください。別紙-1 のとおり、金額を記載しない設計書 P165 を修正します。また、別紙-2 のとおり、設計図 M-14、20、21 を修正します。

33. 上記 32. の回答のとおりとお考えください。

34. 上記 32. の回答のとおりとお考えください。

35. 図面/M-20, A-16, 31

機械設備図において、1階資材倉庫の消火器は「機器設置スタンド」仕様で表記されていますが、意匠図においては、「据置型(又は床置型ボックス)」と表記されています。機器設置スタンドは取り止め、機械設備工事にて「床置型格納箱」を見込むものと考えて宜しいでしょうか。

36. 図面/M-27

既存排水引込管について、注釈では「下水引き込み管撤去は別途工事」と記載されており、図面では引込管に加えて公設柵(柵記号D)が破線表記となっています。引込管及び公設柵(柵記号D)共撤去は別途工事と考えて宜しいでしょうか。

37. 図面/M-27

既存給水引込管について、注釈では「給水引込管分水止め・撤去は別途工事」と記載されていますが、図面では引込管が実線表記されており、別途工事と本工事の区分境界が不明です。敷地境界線(道路境界線)を区分境界とし、道路側の引込管撤去及び分水止めは別途工事、敷地内給水配管(量水器25・止水栓25共)撤去を本工事と考えて宜しいでしょうか。

38. 図面/M-27

前項において否の場合、別途工事と本工事の区分境界、別途工事内容等の詳細をご教示ください。

39. 図面/M-27

撤去屋外配管図に表記されている柵の内、柵リストに記載されていない柵が平面図に1か所表記されています。(既存建物東側)上記の柵は撤去不要と考えて宜しいでしょうか。

35. 上記32.の回答のとおりとお考えください。

36. 上記2.の回答のとおりとお考えください。

37. 上記2.の回答のとおりとお考えください。

38. 上記2.の回答のとおりとお考えください。

39. ご指摘の柵は現地には無く誤植のため、別紙-2のとおり、設計図M-27を修正します。

<p>40. 図面/M-27</p> <p>前項において否であり柵の撤去が必要と判断される場合、柵の仕様詳細をご教示ください。</p> <p>41. 図面/M-16</p> <p>柵リストにおいて、No. 19 塩ビ小口径柵の蓋仕様が「MHA-600」と記載されています。金抜設計書（屋外排水設備）においては、「T-14 付」と記載されています。金抜設計書を正とし、小口径柵用鋳鉄製蓋（200φ T14）と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>42. 金抜設計書/内訳第 50 号 P160</p> <p>金抜設計書（屋内給水設備）において、「防火区画貫通処理 40A 床貫通」×2 か所の項目があります。防火区画（床）の範囲をご教授願います。</p> <p>43. 図面/M-22</p> <p>灌水設備工事条件欄に「クロスネクション対策が必要な場合は、予め衛生設備工事にて施す」と記載されています。クロスネクション対策として逆流防止用具が必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>40. 上記 39. の回答のとおりとお考えください。</p> <p>41. ご質問のとおりとお考えください。別紙-2 のとおり、設計図 M-16 を修正します。</p> <p>42. 別紙-2 のとおり、設計図 M-15 を修正し、防火区画（床）の範囲を記載しました。</p> <p>43. 必要となるクロスネクション対策は設計に反映されておりますので、別紙-2 のとおり設計図 M-22 を修正します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	---

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
室外機用鋼材	SS400 溶融亜鉛めっき仕上	式	1			材工共
【空調配管】						
冷媒用 断熱材被覆銅管	6.4外径(1/4B) 液管 厚8mm	m	147			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.5外径(3/8B) 液管 厚8mm	m	158			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B) 液管 厚10mm以上	m	91			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	15.9外径(5/8B) 液管 厚10mm以上	m	21			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.5 外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上	m	84			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上	m	63			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	15.9外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	m	158			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	19.1外径(3/4B) ガス管 厚20mm以上	m	64			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	22.2外径(7/8B) ガス管 厚20mm以上	m	27			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	25.4外径(7/8B) ガス管 厚20mm以上	m	12			材工共
冷媒用 断熱材被覆銅管	28.6外径(1 1/8B) ガス管 厚20mm以上	m	9			材工共
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	m	210			材工共

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 25A	m	11			材工共
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 30A	m	49			材工共
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 30A	m	11			材工共
冷媒用フレキシブルジョイント	12.7φ	本	2			材工共
冷媒用フレキシブルジョイント	19.1φ	本	2			材工共
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 20A	m	20			材工共
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 32A	m	29			材工共
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 40A	m	7			材工共
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 50A	m	7			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内, ハブシャフト内 アルミガラス化粧筒 25A	m	50			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内, ハブシャフト内 アルミガラス化粧筒 32A	m	34			材工共
排水管塗装	露出 25A	m	35			材工共
排水管塗装	露出 32A	m	15			材工共

衛生器具設備

内訳書

¥ _____ (1式当り)

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
洋風大便器	UAXC3CSN(参考品番) 温水洗浄便座、棚付紙巻器、 他付属品共	組	14			材工共
小便器	UFS900R(参考品番)	組	8			材工共
洗面器	L505(参考品番)(x2組) 自動水栓一体形電気温水器、水石鹼 供給栓、カウンター(L=1500)他付属品共	組	7			材工共
洗面器	L505(参考品番)(x3組) 自動水栓一体形電気温水器、水石鹼 供給栓、カウンター(L=2200)他付属品共	組	2			材工共
洗面器	L505(参考品番)(x1組) 自動水栓一体形電気温水器、水石鹼 供給栓、カウンター(L=800)他付属品共	組	2			材工共
掃除流し	SK22A(参考品番) 横水栓、他付属品共	組	8			材工共
洗濯パン	PWP740N2W(参考品番) 排水トラップ、他付属品共	組	6			材工共
洗濯用水栓	TW11R(参考品番)	個	6			材工共
台付シングル 混合水栓	TKS05303J(参考品番)	個	1			材工共

屋内排水設備

内訳書

¥ _____ (1式当り)

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
排水・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 40A	m	32			材工共
排水・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 50A	m	34			材工共
排水・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 65A	m	23			材工共
排水・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 75A	m	33			材工共
排水・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 100A	m	83			材工共
通気・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 50A	m	97			材工共
通気・リサイクル硬質 ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)	機械室・便所 100A	m	4			材工共
排水・硬質ポリ 塩化ビニル 耐火二層管(VP)	機械室・便所 65A	m	7			材工共
排水・硬質ポリ 塩化ビニル 耐火二層管(VP)	機械室・便所 100A	m	4			材工共
防虫網	100A	個	1			材工共

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
床上掃除口 (非防水形)	COA 65A	個	3			材工共
床上掃除口 (非防水形)	COA 100A	個	9			材工共
通気金具(ガレ)	50VA2	個	6			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内 アルミガラス化粧筒 40A	m	8			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内 アルミガラス化粧筒 50A	m	8			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内 アルミガラス化粧筒 65A	m	4			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内 アルミガラス化粧筒 80A	m	14			材工共
排水管 保温	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内 アルミガラス化粧筒 100A	m	15			材工共
形鋼振れ止め支持	屋内排水配管	式	1			材工共
スリフ°費	屋内排水配管	式	1			材工共
計						

消火設備

内訳書

¥ _____ (1式当り)

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
ABC10型消火器		組	9			材工共
ABC10型消火器	床置型格納箱共	組	3			材工共
ABC10型消火器	床置型格納箱共 外構	組	9			材工共
移動式 粉末消火設備	消火剤充填量33kg 他付属品共	組	9			材工共
消火・塩 ^t 被覆鋼管 (SGP-VS)	地中配管 80A	m	15			材工共
採水口	双口 75A	個	1			材工共
計						

屋外排水設備

内訳書

¥ _____ (1式当り)

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
【一般排水系統】						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 50A	m	3			材工共
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 65A	m	3			材工共
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 100A	m	87			材工共
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 20A	m	5			材工共
塩ビ製小口径柵①	柵径200φ 最大排水管径100φ 90Y-810H T-14付	組	1			材工共
塩ビ製小口径柵②	柵径200φ 最大排水管径100φ 90Y-840H T-14付	組	1			材工共
塩ビ製小口径柵③	柵径200φ 最大排水管径100φ 90Y-870H T-14付	組	1			材工共
塩ビ製小口径柵④	柵径200φ 最大排水管径100φ 90Y-920H T-14付	組	1			材工共
塩ビ製小口径柵⑤	柵径200φ 最大排水管径100φ 90Y-1030H T-14付	組	1			材工共
塩ビ製小口径柵⑥	柵径200φ 最大排水管径100φ 90L-1030H T-14付	組	1			材工共

一般管理費等

内訳書

¥ _____ (1式当り)

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
完了検査 申請手数料	神戸市	式	1			手数料のみ
給水分担金	口径変更	式	1			手数料含む
計						

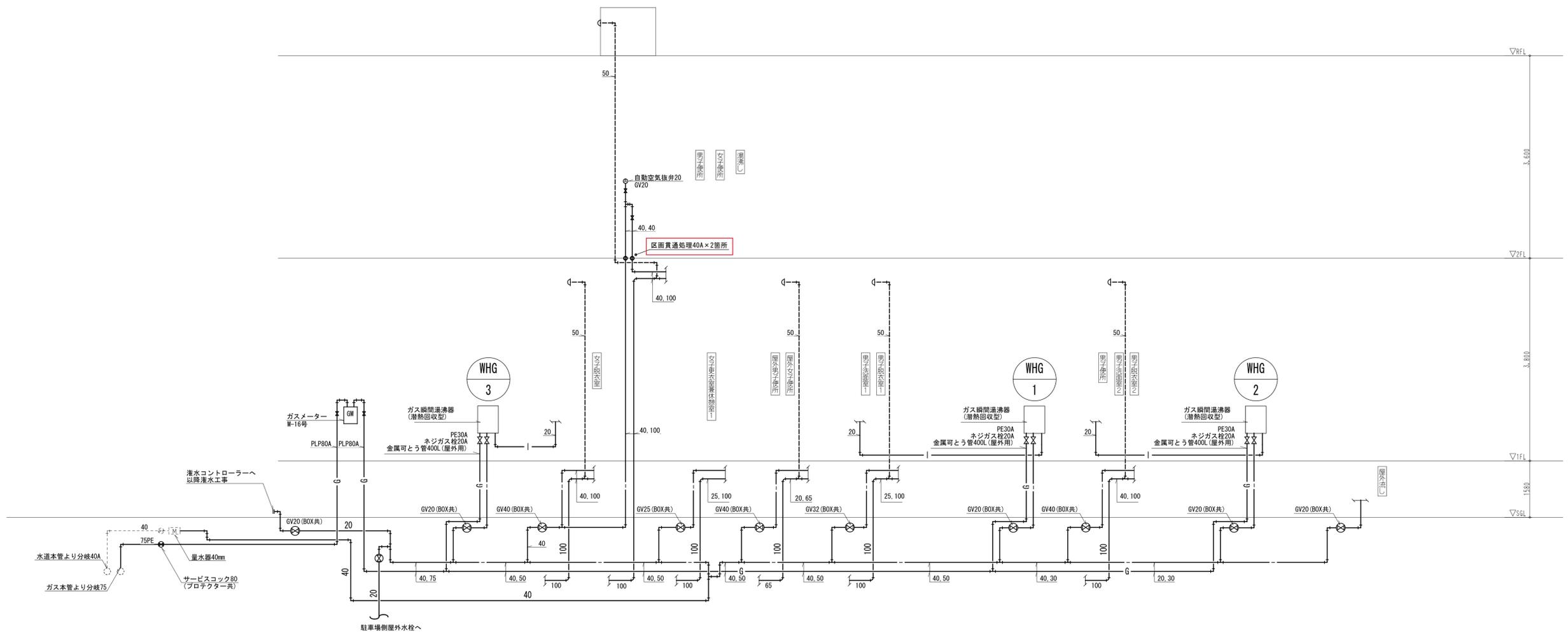
衛生器具表			1階													2階			屋外			合計	備考
名称	品番	附属品	屋外男子便所	屋外女子便所	男子便所	女子便所	女子更衣室兼休憩室1	男子浴室1	男子浴室2	女子浴室1	下足室1	下足室2	男子便所	女子便所	湯沸し	屋外	屋外	屋外					
洋風大便器	UAXG3CSN	壁掛大便器セット・フラッシュ式、温水洗浄便座(TCF5534) 棚付紙巻器(YH501FMR)	3	2	1	2								3	3					14	1φ×100V		
小便器	UFS900R		3	2										3						8	1φ×100V		
洗面器	L505(×2組)	自動水栓一体形電気温水器(REAK03B11S127A) 止水栓(TL347CU)、水石鹸供給栓(TLK04202J) 排水カバー(TN115) カウンターMLWE(L=1500)	1	1	1	1		1	1	1										7	1φ×100V		
洗面器	L505(×3組)	自動水栓一体形電気温水器(REAK03B11S127A) 止水栓(TL347CU)、水石鹸供給栓(TLK04202J) 排水カバー(TN115) カウンターMLWE(L=2200)												1	1					2	1φ×100V		
洗面器	L505(×1組)	自動水栓一体形電気温水器(REAK03B11S127A) 止水栓(TL347CU)、水石鹸供給栓(TLK04202J) 排水カバー(TN115) カウンターMLWE(L=800)					2													2	1φ×100V		
掃除流し	SK22A	横水栓(T23AEQ20)、リムカバー(TK22)、止水栓(TN114) バックハンガー(T9R)、排水金具(T37SGEP)	1	1	1	1					1	1		1	1					8			
洗濯機パン	PWP740N2W	排水トラップ(PJ2008NW)						2	2	2										6			
洗濯用水栓	TW11R							2	2	2										6			
台付シングル混合水栓	TKS05303J														1					1			
横水栓	T28AUNH13																1			1			
水栓柱	H=900	SUS製															1			1			
横水栓	T28AUNH13	13-F12															3			3			
湯沸室流し台	(建築工事)	排水トラップ、共													1					1			
ユニットバス	(建築工事)							1												1			
シャワーユニット	(建築工事)							2	2	2										6			

注) SHASE206-2000に従い吐水口空間を確保する。
配管接続は設備工事(衛生器具共通)
各手摺及びび化粧鏡は建築工事
満水質量が15kgを超える給湯設備は設置・転倒防止に関する国土省告示1447号に適合のこと。

機器リスト

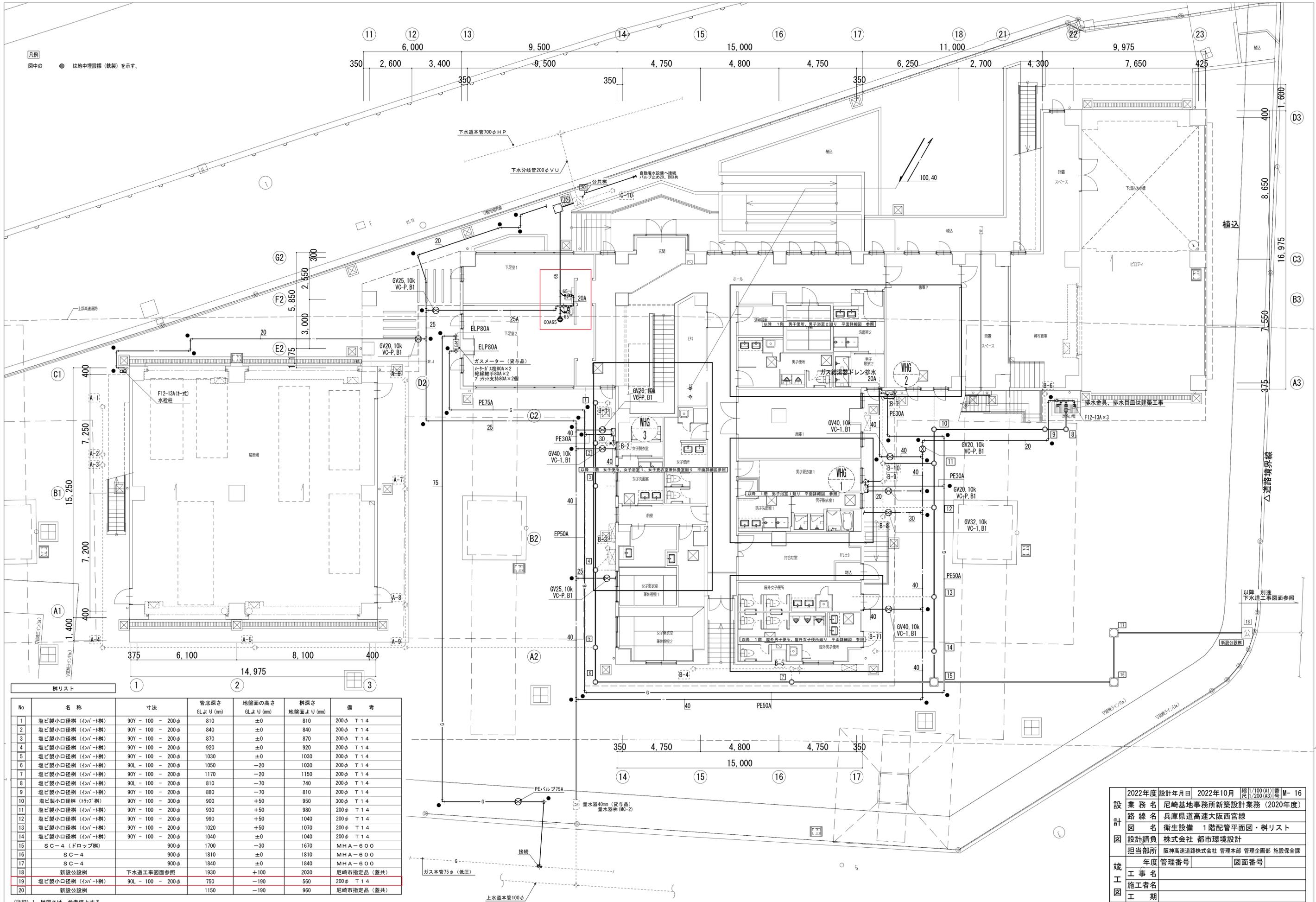
番号	名称	機器仕様	電源			数量	設置場所	備考
			φ	V	kW			
WHE-1	貯湯式電気温水器	容量: 12L 台下形 附属品 レバー混合水栓、飲・雑用型、耐震用脚(固定金具共)、熱湯用単水栓、解放式排水ホッパー、配管セット、フィルター付き止水栓 その他標準付属品共	1	100	1.1	1	2階湯沸し	1. オートパイプ配管及び固定金物は機器付属とする。 2. 週間タイマー付とする。 3. 電気容量は参考とする。 4. 台下形は逆流防止機能付き排水装置を付属とする。 5. 給湯温度は 90℃以上とする。
WHG-1	業務用ガス給湯器	形式 屋外壁掛型、耐塩害仕様、潜熱回収型 32号 ガス消費量 60.0kW 附属品 リモコン リモコンコード その他標準付属品共	1	100	0.5	1	1階外壁 (男子浴室1系統)	使用ガス: 都市ガス 発熱量: 45.0MJ/M3N 号数は25℃上昇の出湯量 1 L/minを示す。
WHG-2	ガス給湯器	形式 屋外壁掛型、耐塩害仕様、潜熱回収型 24号 ガス消費量 55.0kW 附属品 リモコン リモコンコード その他標準付属品共	1	100	0.5	1	1階外壁 (男子浴室2系統)	
WHG-3	ガス給湯器	形式 屋外壁掛型、耐塩害仕様、潜熱回収型 24号 ガス消費量 55.0kW 附属品 リモコン リモコンコード その他標準付属品共	1	100	0.5	1	1階外壁 (女子浴室1系統)	
	ABC10型消火器	埋込型キックス(建築工事)内に設置				9	(4) 1階 (5) 2階	
	ABC10型消火器	附属品 床置型格納箱共				12	(2) 1階 (1) R階 (9) 外構	※移動式粉末消火器横に設置
	移動式粉末消火設備	ABC粉末消火器、消火剤充填量: 33kg、 附属品 格納箱 放出弁 ホース及び ノズルその他標準付属品共				9		

設計 図	2022年度	設計年月日	2022年 10月	図 尺	N/S(A1) N/S(A3)	番 号	M-14
	業務名	尼崎基地事務所新築設計業務(2020年度)					
	路線名	兵庫県道高速大阪西宮線					
	図名	衛生設備 器具リスト					
竣工 図	設計請負	株式会社 都市環境設計					
	担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課					
	年度	管理番号					図面番号
	竣工 工事名						
	施工者名						
	工期						



(注記)
 ・排水管(汚水、雑排水)、通気管の整管および区画貫通部より1.0mを超える範囲の配管材は耐火二層管(FDP)とする。

設計年度	設計年月日	2022年 10月	縮尺	N/S(A1) 1/50 N/S(A3) 1/100	書	M- 15
業務名	尼崎基地事務所新築設計業務(2020年度)					
路線名	兵庫県道高速大阪西宮線					
図名	衛生設備 配管系統図					
設計請負	株式会社 都市環境設計					
担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課					
竣工年度	管理番号	図面番号				
竣工工事名						
竣工施工者名						
竣工工期						

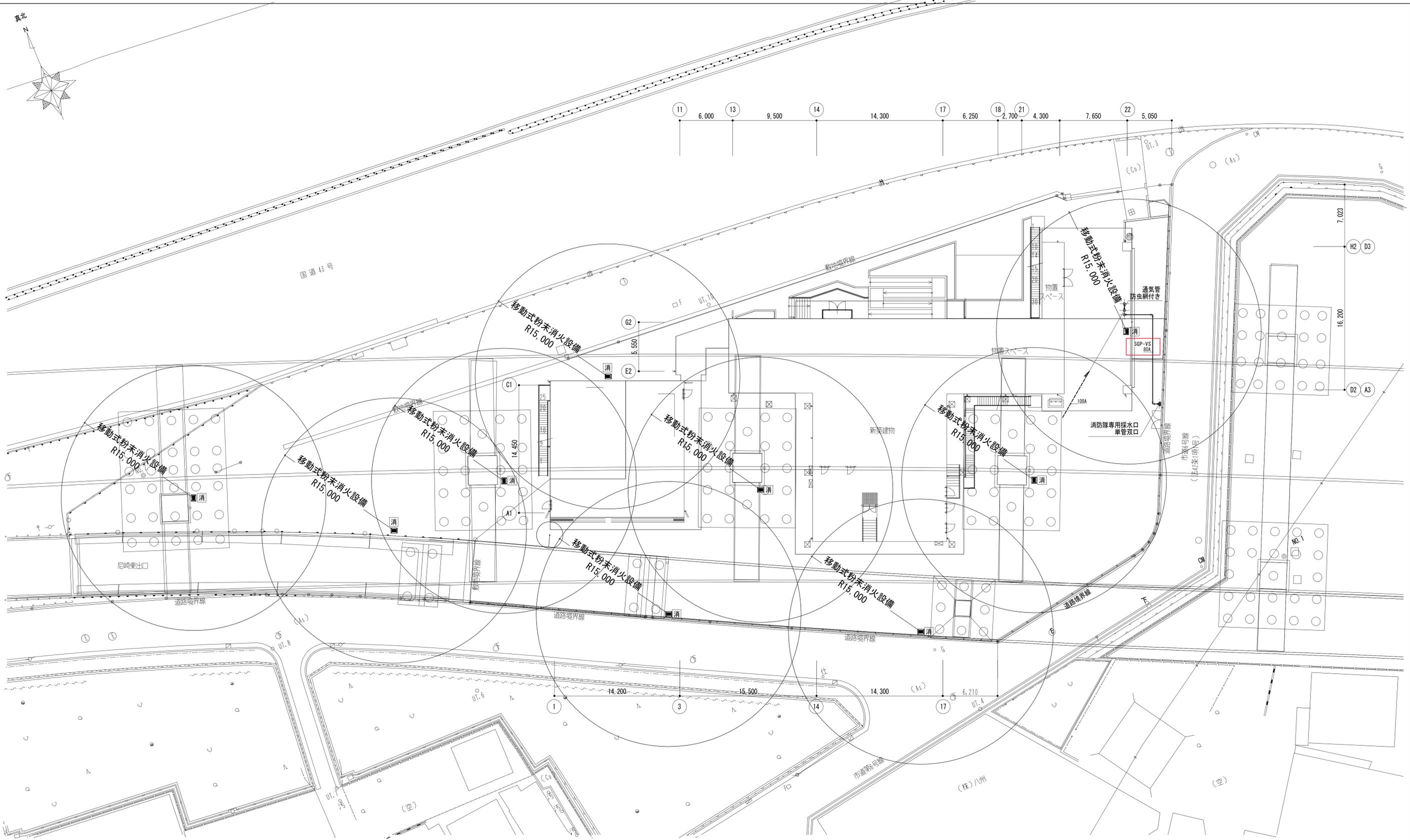


凡例
 図中の ● は地中埋設標（鉄製）を示す。

No	名称	寸法	管底深さ GLより (mm)	地盤面の高さ GLより (mm)	樹深さ 地盤面より (mm)	備考
1	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	810	±0	810	200φ T1.4
2	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	840	±0	840	200φ T1.4
3	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	870	±0	870	200φ T1.4
4	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	920	±0	920	200φ T1.4
5	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	1030	±0	1030	200φ T1.4
6	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	1050	-20	1030	200φ T1.4
7	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	1170	-20	1150	200φ T1.4
8	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90L - 100 - 200φ	810	-70	740	200φ T1.4
9	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	880	-70	810	200φ T1.4
10	塩ビ製小口径樹 (300+樹)	90Y - 100 - 300φ	900	+50	950	300φ T1.4
11	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	930	+50	980	200φ T1.4
12	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	990	+50	1040	200φ T1.4
13	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	1020	+50	1070	200φ T1.4
14	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90Y - 100 - 200φ	1040	±0	1040	200φ T1.4
15	SC-4 (ドロッブ樹)	900φ	1700	-30	1670	MHA-600
16	SC-4	900φ	1810	±0	1810	MHA-600
17	SC-4	900φ	1840	±0	1840	MHA-600
18	新設公設樹	下水道工事図面参照	1930	+100	2030	尼崎市指定品 (蓋共)
19	塩ビ製小口径樹 (400+樹)	90L - 100 - 200φ	750	-190	560	200φ T1.4
20	新設公設樹		1150	-190	960	尼崎市指定品 (蓋共)

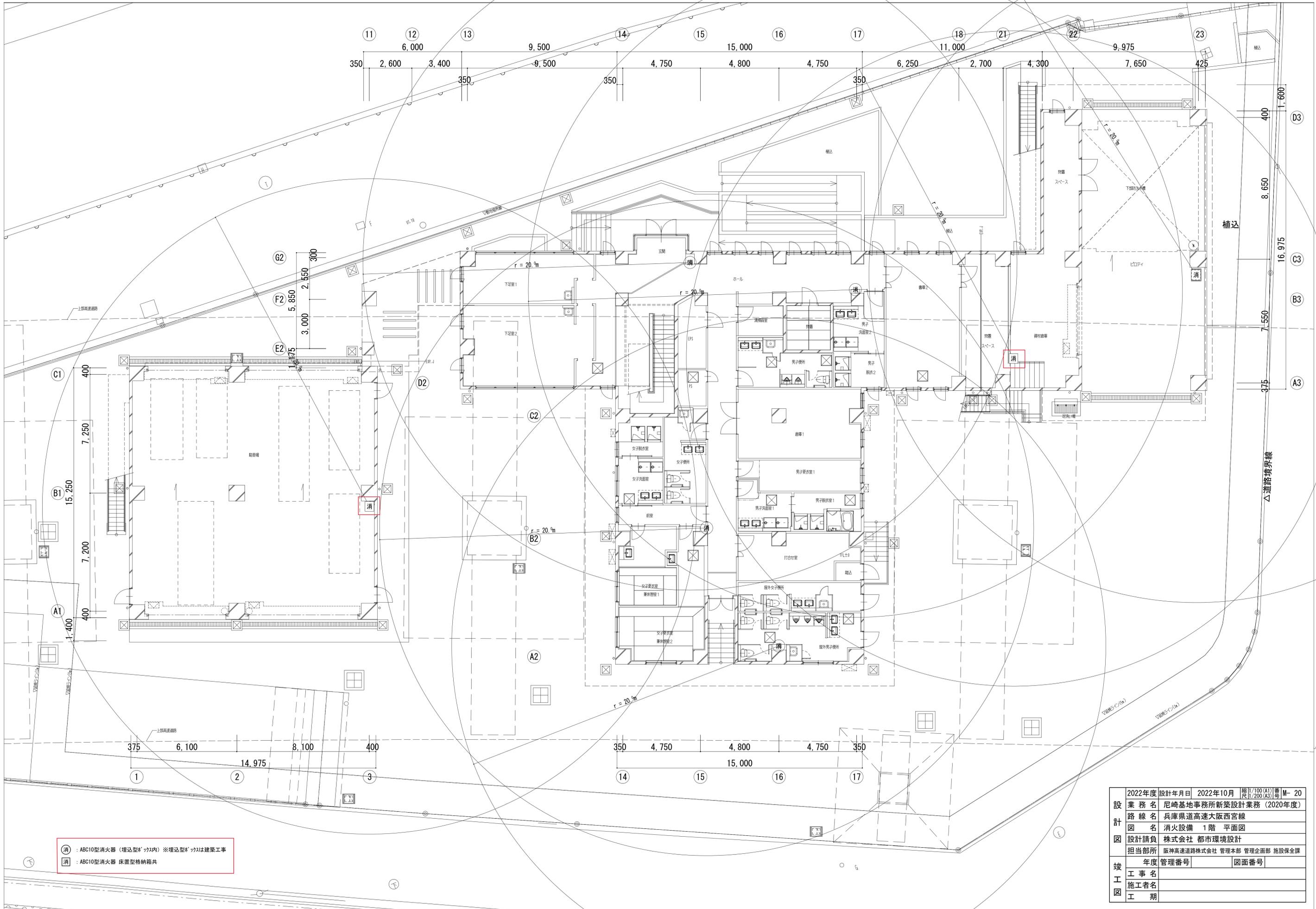
(注記) 1. 樹深さは、参考値とする

設計年度	設計年月日	2022年10月	縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	番	M-16
設計業務名	尼崎基地事務所新築設計業務 (2020年度)					
路線名	兵庫県道高速大阪西宮線					
図名	衛生設備 1階配管平面図・樹リスト					
設計請負	株式会社 都市環境設計					
担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課					
竣工年度	管理番号					図面番号
工事名						
施工者名						
工期						



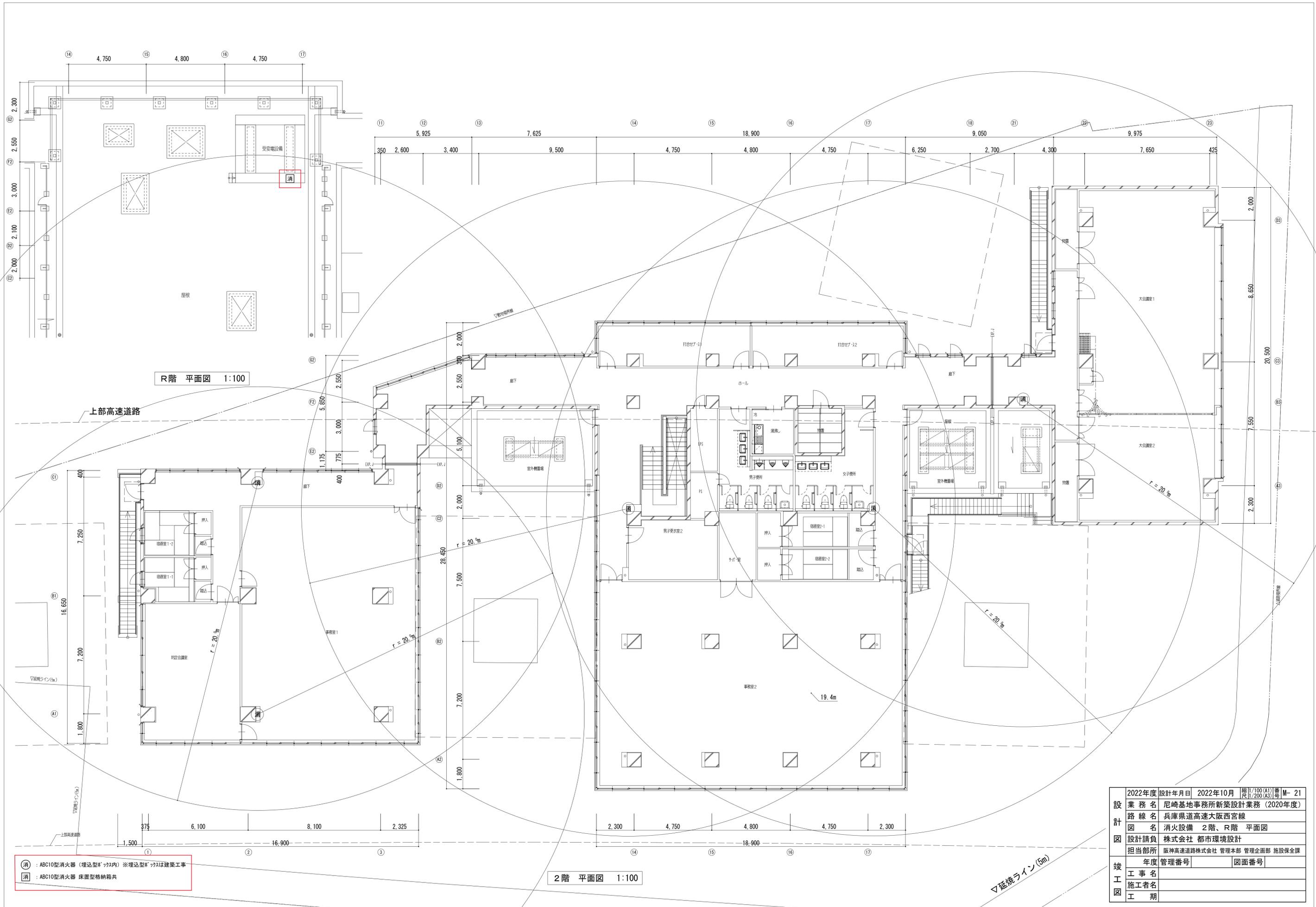
消：移動式粉末消火・ABC10型消火器 格納箱共

設計 図名	2022年度 設計年月日	2022年 10月	縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)	番	M- 19
	業務名	尼崎基地事務所新築設計業務 (2020年度)				
	路線名	兵庫県道高速大阪西宮線				
	特殊消火設備	平面図				
設計請負 担当部所	設計請負	株式会社 都市環境設計				
	担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課				
竣工 図	年度					
	管理番号					
	図面番号					
竣工 期	工事名					
	施工者名					
竣工 期	工期					



(消) : ABC10型消火器 (埋込型* ヲケ内) ※埋込型* ヲケは建築工事
 消 : ABC10型消火器 床置型格納箱共

設計	2022年度	設計年月日	2022年10月	縮尺	1/100 (A1) 書 M-20 1/200 (A3)
業務名	尼崎基地事務所新築設計業務 (2020年度)				
路線名	兵庫県道高速大阪西宮線				
図名	消火設備 1階 平面図				
設計請負	株式会社 都市環境設計				
担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課				
竣工	年度	管理番号	図面番号		
工事名					
施工者名					
工期					

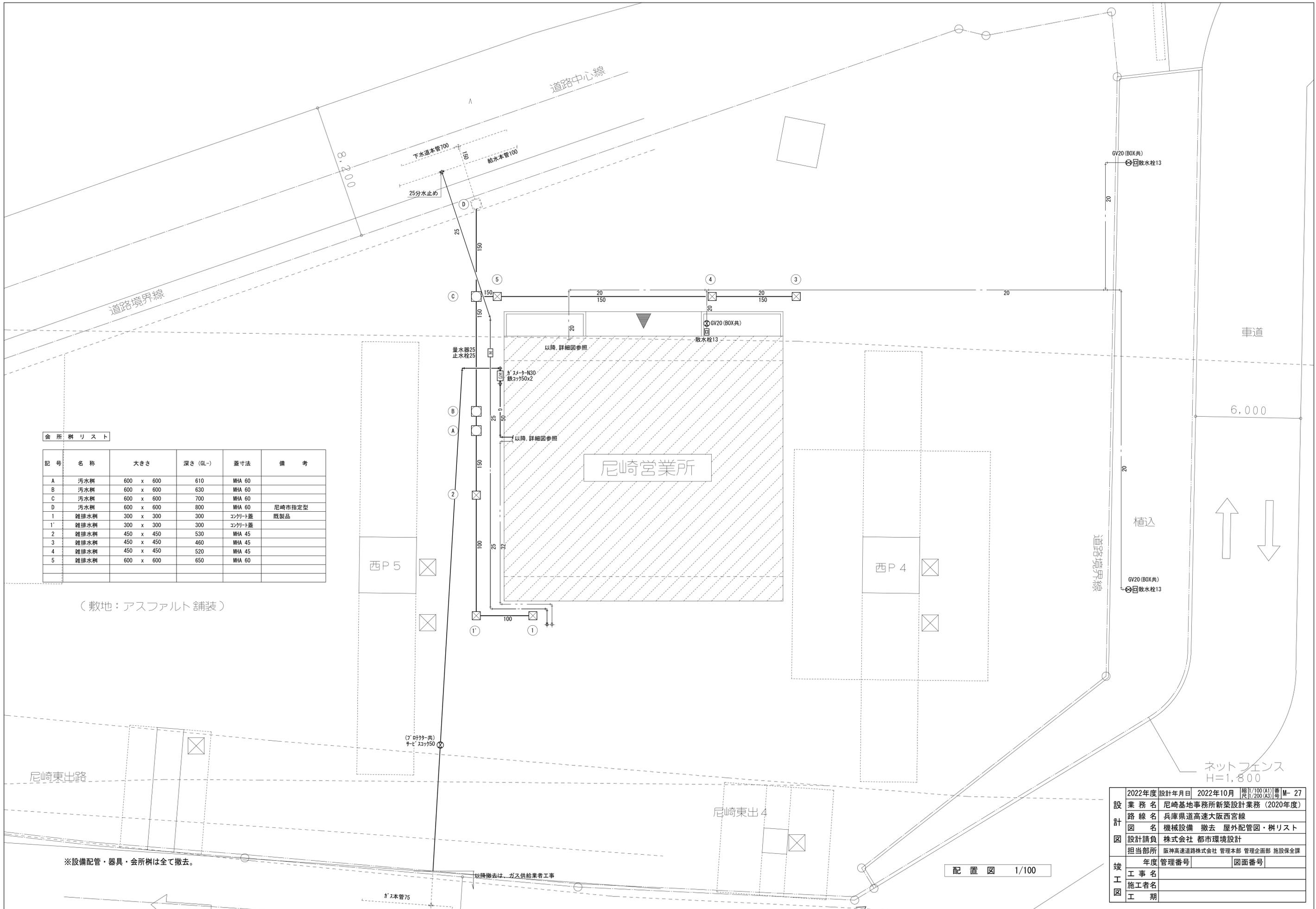


R階 平面図 1:100

2階 平面図 1:100

- 消 : ABC10型消火器 (埋込型* ヱタ内) ※埋込型* ヱタは建築工事
- 消 : ABC10型消火器 床置型格納箱共

設計年度	設計年月日	2022年10月	縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	番	M-21
業務名	尼崎基地事務所新築設計業務 (2020年度)					
路線名	兵庫県道高速大阪西宮線					
図名	消火設備 2階、R階 平面図					
設計請負	株式会社 都市環境設計					
担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課					
竣工年度	管理番号					図面番号
竣工工事名						
竣工施工者名						
竣工工期						



会 所 樹 リ ス ト

記 号	名 称	大 き さ	深 さ (GL-)	蓋 寸 法	備 考
A	汚水樹	600 x 600	610	MHA 60	
B	汚水樹	600 x 600	630	MHA 60	
C	汚水樹	600 x 600	700	MHA 60	
D	汚水樹	600 x 600	800	MHA 60	尼崎市指定型
1	雑排水樹	300 x 300	300	コンクリート蓋	既製品
1'	雑排水樹	300 x 300	300	コンクリート蓋	
2	雑排水樹	450 x 450	530	MHA 45	
3	雑排水樹	450 x 450	460	MHA 45	
4	雑排水樹	450 x 450	520	MHA 45	
5	雑排水樹	600 x 600	650	MHA 60	

(敷地：アスファルト舗装)

※設備配管・器具・会所樹は全て撤去。

設計年度	設計年月日	2022年10月	縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	番	M-27
業務名	尼崎基地事務所新築設計業務 (2020年度)					
路線名	兵庫県道高速大阪西宮線					
図名	機械設備 撤去 屋外配管図・樹リスト					
設計請負	株式会社 都市環境設計					
担当部所	阪神高速道路株式会社 管理本部 管理企画部 施設保全課					
竣工年度	管理番号					図面番号
竣工工事名						
竣工施工者名						
竣工工期						

配置図 1/100